

炎が照らす

復興への道

大観音例大祭

釜石

釜石大観音

例大祭「炎の

祭典」は5日、釜石市大平町の現地で営まれた。清めの炎が震災犠牲者を弔い、

復興への道を照らした。

大勢の参拝客、観光客が

訪れた。僧侶が護摩札を火にくべ、祖先や犠牲者を悼む「供養の炎」と心願

成就の「祈願の炎」をたい

た。読経の音が響く中、薄曇りの空に火柱が上がると、参拝客らはじっと炎を見つ



釜石大観音に見守られ、炎を
囲んでしし踊りを舞う踊り手

め、手を合わせる人もいた。同市の小川しし踊り保存会は、炎を囲んで勇壮華麗な舞を披露した。

釜石大観音は4月、NPO法人地域活性化支援センター（静岡市、志垣恭平理事長）認定のデートスポット「恋人の聖地」に選ばれたばかり。境内には夫婦や家族連れで記念撮影する人の姿もあった。

同市甲子町の会社員佐々木洋佑さん（44）は「激しい炎と、白く優しい観音様の対比が印象的だ」と写真に収めていた。